

『カラフルな地球』

地球には さまざまな人が住んでいる
 私たちみたいな人もいれば 黒人や白人もいる
 仏教を信じる人もいれば キリスト教やヒンドゥー教 イスラム教などを信じる人もいる
 そんな さまざまな人が集っているのが地球なんだ

人は 誰れもがみな自分の考えを持って 生きている
 永遠と続く 1つの空の下で 生きている
 生きているからこそ 人とぶつかるんだ
 生きているからこそ 喜びあえるんだ

もし 地球が1色だったら
 もし みんないっしょだったら
 “喜び”や“悲しみ”といった言葉は 生まれなかつたらう

さまざまな人がいて さまざまな文化があるからこそ
 地球なんだ



こころ うた おおかわま さ み
 「人権の詩」大成中3年大川真沙実さん

中学生税の作文

「税に守られている

私たちの暮らし」

大成中2年 向井裕理さん むかいゆり



私の祖母は、数年前から「ひざが痛い。ひざが痛くて、正座ができない。」と言っていました。そんな言葉を聞いたときに、私はどうしたら祖母の足が良くなるのだろうかかと心配していました。和歌山県は、みかんや梅の産地です。祖母も長年にわたって、みかんや梅の農作業に従事し、重いコンテナを運んだりしてきました。ただでさえ年齢とともに、ひざの関節が弱くなってくるのに、そうした長年の負担にたえられなくなつて、祖母のひざは悲鳴をあげだしたように思われました。

昨年ぐらいいから、夜も眠れなくらい痛くなり、県内だけでなく、大阪や兵庫の病院にも、毎週のように治療に通っていました。そんな時に、ある病院で、足につけるコルセットのようなものをあつらえて作ってもらいました。その装具は何万円もかかり、高額でしたが、歩くときにずいぶん負担が軽くなると聞いて、すぐに作ってもらうことにしたそうです。その時祖母は、「足が良くなるのだったら、なんでもするよ。」と、言っていました。

ところがその後、その装具は医療費の払戻しの適用を受けられ、申請をして費用の大半が手元に戻ってきたといつて、とても喜んでいました。また、『確定申告』の時にも、医療費や薬代、医療用品の費用なども、『医療費控除』を受けられてお金が返ってきたそうです。

その話を聞いて、私はやっぱり税金は私たちの暮らしを守ってくれているものだと感じました。私たちの生活を豊かで安全なものにするためには、社会保障の充実が欠かせません。社会保障関係費の中には、医療、年金、福祉に関するものなどが含まれてい

て、約十八兆円もお金が使われています。『安心して健康な毎日を送りたい』ということは、国民一人ひとりの願いです。そうした国民一人ひとりの願いを支えるために欠かすことができないのが、道路や公園の整備や学校などの教育関連費や警察・消防といった個人ではまかなうことのできない公共の施設や公共のサービスなどです。

国や地方公共団体は、私たちの暮らしを豊かで快適なものにするために、さまざまな事業や活動を行っています。そしてそのために、私たちが納めた税金が使われているのです。税金は一方的に払うだけのものではなく、この社会の中で循環しているものだということに私は気がつきました。

私たちは、税金を納めるものとして、自分たちが払っている税金の使いみちについて関心を持ち、また、税金のしくみについても正しく理解していくことが大切だと思います。

